

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成31年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	特定環境下水	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	
		○					

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等			
実施済	○	(実施類型)		(取組の概要及び効果)	(実施(予定)時期)
		汚水処理施設の 統廃合	汚泥処理の 共同化	・特環紫雲寺地区の汚水を胎内市(中条浄化センター)にて共同処理開始(平成18年度) ・農排地区の汚水について、単独特環(加治川浄化センター)へ接続を実施(平成28年度) ・処理場建設経費2,400百万円、年間運営経費51,000千円、農排処理場年間運営経費12,000千円の削減となった。	平成
		○			18
実施予定		維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理 施設の選択(最適化)		4
			○		1
					年
					月
					日
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)	